



上向台小だより

1月号

西東京市立上向台小学校

令和7年1月8日

<http://www.nishitokyo.ed.jp/e-kamimukoudai>

「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて
～箱根駅伝から学ぶ 上小の学びを広げる地域や企業の力～

校長 酒見 裕子

新しい年を迎え、いよいよ3学期がスタートしました。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、お正月の風物詩「箱根駅伝（東京箱根間往復大学駅伝競走）」は、今年も多く感動を届けてくれました。青山学院大学が大会新記録で2年連続8回目の総合優勝を果たしましたが、2位の駒澤大学も復路新記録を達成し、ハイレベルな戦いとなりました。その他にも4校による激しいシード権争いがあり、わずか7秒差でシード権を獲得できなかった大学もありました。最後まで手に汗を握る戦いで、一人一人が力を尽くし、仲間と共に目標に向かって挑戦する姿に胸が熱くなりました。

昨年1月の学校便りも箱根駅伝について述べましたが、今年は箱根駅伝を支える企業や地域住民との連携、歴史に思いを巡らせながら見ていました。

今年 101 回目を迎えた箱根駅伝ですが、第 1 回大会は、大河ドラマ「いだてん」でも有名な金栗四三さんの「世界で通用する長距離走者を育成したい」、「日本のスポーツ教育の発展のために」との思いから、金栗さんをはじめとした若きリーダーたちが計画し、1920 年から始まりました。（第 1 回は、早稲田、慶応義塾、明治、東京高等師範の 4 大学対抗駅伝。）

1953 年からは NHK ラジオが中継を開始し、ラジオ局からの要請もあり、大会日程が 1 月 2・3 日に固定されました。

テレビ放送は1979年から始まり、最初は東京12チャンネル（テレビ東京）で1区から9区までは録画放送し、ゴールだけ生放送されていたそうです。

その後、1987年から今のように日本テレビでの生中継が開始されることに。最初は生放送の時間が限られていましたが、NTTの協力により、双子無線中継所が使用できるようになり、1989年から完全生中継となったそうです。

このようにメディアも含め、企業がもつ多様な専門性やリソースが、長年にわたって箱根駅伝を支えてきました。企業は、単なるスポンサーとしてだけでなく、選手たちや地域と協力しながら価値を創出しています。アスリート向けの製品開発や、地域活性化のための活動など、その取組は企業や地域、そして学生たちが協働することで成り立っています。

さらに、箱根駅伝では、選手が通過するコースの地域の住民や自治体とも密接に関わり、地域の応援やサポートが駅伝の成功を支えています。

箱根駅伝を見ながら、学校においても、企業や地域と密接に連携しながら、子どもたちが「地域にどのように貢献できるか」を考える機会をもつことはとても大切なことであると感じました。

また、地域や企業など、多様な人々と協働する力は、これからの社会で必要とされる重要なスキルであり、学校教育でも育むべき力であると言えます。

例えば、企業等との連携を通じて、子どもたちが協力して課題を解決するプロジェクトを行うことも考えられます。企業の方々の講演を通じて、子どもたちが「社会の中で自分はどの役立てるのか」を考える機会を設けることもできるでしょう。

本校では、第3学年社会「農家の仕事」で、地域の田倉農園さんから野菜作りの努力や工夫を学んだり、第5学年では市内にあるシチズンの様々な部署の社員の方にお越しいただき、「ものづくりの楽しさ」や「働くとはどういうことか」、「どのような職業があるのか」など、自分の将来を考えるきっかけになるようなお話を伺ったりしています。

その他の学年も、年間でお世話になっている小金井公園ボランティア団体「桜守の会」や「樹木の会」、「なかよし農園」、「町探検で何うお店や施設」など、地域の様々な方々と連携して学習を進めています。

単なる教室内での知識にとどまらず、学校が社会との接点を持ち、あらゆる人々と繋がりをもつことは、極めて大切なことであると考えています。子どもたちが社会との繋がりを通して、自分の人生や社会をよりよく変えられるという実感をもつことは、これから直面するであろう様々な課題を乗り越えられる力を育むことに繋がるでしょう。

本校は、昨年度からコミュニティ・スクールに指定されています。よりよい社会を創ることを目標に、学校の教育活動の目標やビジョンを地域や保護者の皆様と共有するとともに、「社会に開かれた教育課程」を編成し、学校と地域、保護者が一体となって子どもたちを育てていくこと、よりよい学校教育を通して、さらに地域への愛着や地域に参画する態度、自らすすんで探究する資質・能力の育成を図っていきたいと考えます。

既に、本校では、先ほどの企業等の他にも、育成会や避難所運営協議会、上小ガーディアンズ、上向台サルビア、おやじの会、上向台どんと焼き実行委員会、読み聞かせなど、様々な「上小応援団」が活躍しています。

ぜひ、「上小応援団」の一員になって、地域全体で子どもたちの成長を支え、ともに学校づくりに参画していただければ幸いです。

【上小応援団 募集中！】

件名：上小応援団 ①氏名、②住所、③連絡先、④ボランティア可能な内容
E-mail：e-kmukou@nishitokyo.ed.jp まで御連絡ください。

コミュニティ・スクール HP : <https://www.nishitokyo.ed.jp/e-kamimukoudai/soshiki/gakuumnkyo.html>